



奄美市立 名瀬中学校

生徒数 216 人
学級数 9 クラス



《テーマ》

自他の命をかけたがえのないものと感じることができる生徒の育成 ～自己肯定感を育む教育活動を通して～

研究に当たって（テーマ設定の理由）

本校では、「命を大切に教育の充実」を重点教育課題としている。全国学力・学習状況調査において、「自分にはよいところがあると思いますか。」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒が、令和4年度は約 63%程度と全体的に自己肯定感が低い状況が見られた。自己肯定感を高める教育活動の工夫を通して、自他の命を大切に生徒の育成が必要であると考えた。

研究スケジュール

- 4月5日 職員研修（人権同和教育）
生徒向け人権教室（講師：県指導主事）
- 8月19日 職員研修（講師：県指導主事）
- 11月1日～11月30日：心（ちむ）月間
- 11月17日 生徒・保護者向けストレスマネジメント講話
（講師：鹿児島大学特任助教）
- 11月24日 家庭教育学級（講師：県指導主事）

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

□ 構成的グループエンカウンター

2学期は、体育大会や文化祭など学校や学年、学級でまとまり、協力して取り組むことが必要な大きな行事が行われている。構成的グループエンカウンターを通して感じたことや学んだことを、このような大きな行事で体験的に活用できるように、6月末から7月にかけて集中的に実施した。



【構成的グループエンカウンター】

□ 「子どもの人権プロジェクト推進校」の取組（講師：県指導主事）

- 1 生徒を対象とした人権教室（5月31日）
テーマ：違いに気づき、互いを認め合う
- 2 教職員を対象とした人権同和教育の研修（8月19日実施）
テーマ：人権尊重の視点に立った学級経営や生徒指導
- 3 保護者を対象とした家庭教育学級人権教室（11月24日実施）
テーマ：子供たちの自己肯定感を高め自尊感情を育むための家庭での過ごし方や子供たちへの声かけについて



【人権教室】

□ いのちの教育強調月間 ～心（ちむ）月間～

生徒・職員共に学校が一丸となって自他の命を尊重する意識を高める期間として11月に設定した。その一環として講師を招聘し、ストレスマネジメントについての講話を実施した。

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと）

- 体育大会や文化祭を通して、学級でまとまり、団結して行事を成功させようという生徒が増える傾向が見られた。
- 1学期に比べ、友人同士のコミュニケーション不足を起因とするトラブルが減少しつつある。
- 「学校楽しいーと」の結果を分析すると、自己肯定感に関する数値はいまだに低い状況が見られる。今後も、継続的した取組が必要である。